



環境を守りましょう

水稻用一発肥料には**プラスチック**が使われています

水田から流出させない

対策

をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料のプラスチック殻は 水田から流出させないようにしましょう！



移植
時期

代かきによって巻き上げられた殻が
移植前の落水時に流れ出てしまいます

殻を流さないために



対策1 浅水代かき



対策2 捕集ネットの使用

対策のポイント

対策1 浅水代かき

● 均平化

入水前に田面はできるだけ均平にしましょう

● 畦畔管理

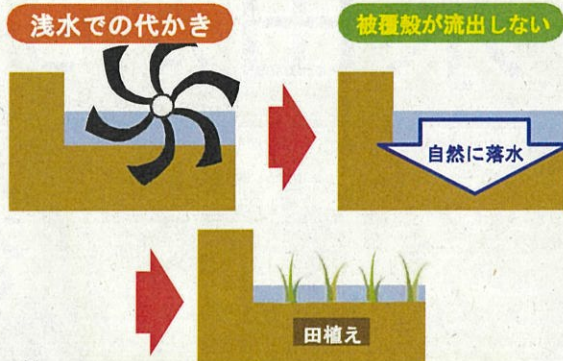
あぜが崩れていないか確認しましょう
排水溝には止水板を設置しましょう

● 入水量

大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう

● 自然落水

移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう



落水せず当日～数日のうちに
移植しましょう!

対策2 捕集ネットの使用

※強制落水を行う場合の対応策です。

① 材料を揃える

材料一覧例

100円ショップで入手可

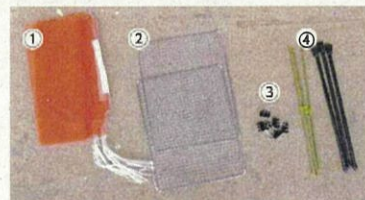
/①玉ねぎネット

※ネットの網目は2ミリ以下

③クリップ

②BBQ用の網

④園芸用支柱



② 水尻に設置



ネットのみ



園芸用の柵



被覆肥料の殻の
流出防止対策動画

You Tube にて
対策動画を公開しています

◎ 二段構えで薬詰まりを防ぐ

＜製造メーカー・全農による共同研究・開発について＞

①環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壌中に崩壊・分解しやすくなるように
各メーカー工夫をしていますが、分解するまでかなりの時間がかかります。

②より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。

